

いつもあるモノが使えない！！

どうする？ 災害発生時の胃瘻栄養。

3月11日。東日本を広範囲に大地震が襲い、被災地からは数多くの課題が投げかけられました。

食料や飲料水、生活用品、ガソリン、電気・ガスなど「いつものモノ」が使えない状況下、避難所やかろうじて診療を再開した医療機関で医療や介護の手を待つ方や、避難勧告が出されても在宅介護を続けざるを得ない状況の方がいらっしゃる一方、被災地支援の人や物が、必要とするところに届かないという問題もありました。

そこで今回は、災害発生時の胃瘻栄養管理をテーマに取り上げました。被災地へ支援活動に赴かれた先生方の報告をお聞きしながら、日頃から準備しておくべきモノや心構え、連絡体制を考えるきっかけにいただければと思います。

皆様のご参加と積極的なご発言を、お待ちしております。

(神奈川 PDN セミナー スタッフ一同)

- 日 時 2011年7月9日(土) 14:00~17:00 予定 (受付開始 13:30~)
- 会 場 神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール
(JR 京浜東北線・根岸駅より徒歩約2分)
- 代表世話人 赤羽重樹先生 (西神奈川ヘルスケアクリニック 院長)
- 定 員 120名: 胃瘻にかかわるすべての職種
- 参加費 1,000円
- プログラム
 - <第1部> 基調講演
「胃瘻に関わることがら~いま一度整理しておこう~」
赤羽重樹先生 (西神奈川ヘルスケアクリニック 院長)
 - <第2部> 被災地支援レポート
「被災地の現状と医療者のボランティア活動から見た栄養管理の問題点」
望月弘彦先生 (クローバーホスピタル 消化器科)
「災害時の栄養管理~限られた中での食事支援、胃瘻ケア~」
江頭文江先生 (地域栄養ケア PEACH 厚木 管理栄養士)
- 申 込 申込用紙を用い、FAXにてお申し込みください。
- 共 催 NPO 法人 PDN・日本シャーウッド株式会社
- 後 援 日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、神奈川県看護協会(予定)

おしらせ

- ※ 地震や計画停電実施等により中止の場合は、悪しからずご了承下さい。
- ※ 当日に中止決定のご連絡をする可能性もありますので、申込書には確実に連絡のとれる緊急連絡先をご記入下さい。
- ※ 各自、お飲み物等ご用意の上、動きやすく体温調節できる服装でお越し下さい。
- ※ お預かりした個人情報、本セミナーについての連絡以外には使用いたしません。